

高同窓会だより

編集・発行／岐阜県立本巣松陽高等学校同窓会事務局

〒501-0407 岐阜県本巣市仏生寺 859-1 TEL (058) 324-1201 FAX (058) 323-0651

ホームページ <http://www.motosu-dousoukai.org/>

第46号

卒業生総数 30,898人

本巣中学校	2,571人
本巣高等女学校	2,592人
併設中学校	682人
本巣高等学校	21,299人
本巣松陽高等学校	3,754人

(平成30年3月1日現在)

創立百周年に向けて盛り上がる同窓会

同窓会長 川瀬善忠(昭40年卒)



本年我が母校は、大正9(1920)年に旧制・本巣中学として設立以来、98年目を迎へ、2020年の創立百周年までいよいよ残り2年となりました。

「歴史を飾る1ページにしよう」と、2年前に記念事業実行委員会を立ち上げ、同窓会を中心として、組織の拡充や事業の見直し等を進め、着実に創立百周年に向けての機運が高まってきました。

◇同窓会総会に220名が参加

平成29年度の総会より、幹事学年を卒業後30年目・20年目の2学年体制に変えました。そして、1年前から総会に向けて企画を推進し、在校生の参加も得て、近年にないボリュームのある内容の濃い総会を開催することができました。

母校の現在(いま)

名誉会長 小椋博文



同窓会の皆様には、平素から母校の教育の振興のため、格別の御支援を賜り、厚くお礼申し上げます。3年間にわたり本校の教育に尽力された豊田文秀校長先生の後を引き継ぎ、今年度4月に着任しました。歴史と伝統ある本校での勤務を大変光栄に思っております。どうぞよろしくお願いたします。

さて、今年度は、4月の関東支部総会、8月の総会・懇親会、そして年間9回に及ぶ創立百周年記念事業実行委員会に出席させていただきます。そのたびに、本校正門を入ってすぐ右側に立つ昭和60年度卒業生寄贈の石碑に刻まれた「母校は若き日の心の故郷である」という言葉どおり、数多くの同窓会の皆様の母校愛、母校に対する熱き思いに幾度となく触れ、感激す

た。

新しい企画、運営のモデルを創造してくださった幹事の皆さんのご尽力に深く感謝いたします。50人近い常任理事等の参加が勢いをつけました。今後も「参加してよかった」と言われる総会を目指したいと思います。

◇母校「銀杏祭」に初参加

8月31日、9月1日に開催された「銀杏祭」に、同窓会が初参加しました。

教室をお借りし、過去の卒業アルバム・記念誌、懐かしい学校行事の写真、卒業生名士の紹介等を展示し、歴史を振り返ると共に、創立百周年記念事業の紹介をしました。

また、輪投げコーナーを設置し、訪れた方々に楽しんでいただきました。両企画とも、大人気で、多くの生徒・保護者・同窓生が関心を寄せて下さいました。次回も展示物やパネル類を充実し、創立百周年への啓発活動の場としたく

ると同時に、身の引き締まる思いがしております。

現在、本校は「夢を見つめる 夢を育む 夢を叶える」という

キャッチフレーズのもと、3つの重点目標を掲げて教育活動を展開しております。1つめは、「学力向上」です。単位制の強みを生かした少人数授業や習熟度別授業によるきめ細かな指導を通じて、個々の進路希望を可能にする学力を向上させることにより、夢を実現しようとする生徒を育てること。2つめは、「人間力の育成」です。挨拶、言葉遣い、掃除、身だしなみなどの基本的な生活習慣とコミュニケーション能力を育成し、社会を生き抜く力をもった生徒を育てること。3つ目は、「活力の高揚」です。学校行事、部活動、ボランティア活動等にひたむきに取り組みむことを通じて、仲間と協働しながら、主体的に物事に取り組む生徒を育てること。この3つの重点目標を柱に、百周年が新たな伝統の創造の始まりとなるよう、微力ながら努めていきたいと考えております。同窓会の皆様には、母校に対する引き続きの御支援をお願いいたします。

◇機運を盛り上げる広報活動

創立百周年を迎えるということを、広く在校生、同窓生、近隣住民、一般市民に知っていただくために、横断幕・懸垂幕を作成し、国道303号線沿いと本館校舎に掲げました。在校生からもオリジナルなデザインを募集し、横断幕・懸垂幕の制作をしていただくよう働きかけをしました。夢を描いた素敵な幕が掲げられました。

◇事業推進の大基盤、協賛金の依頼を開始

昨年12月に同窓生・旧職員等の皆さん約2万3千名に「正門周辺整備事業」の趣意書とともに協賛金依頼の振込用紙を発送いたしました。

「未来に開かれたゲート、百年の紡ぎ」を基本設計のコンセプトとした、新たな校門の設置事業を推進するためには、同窓生一人一人のご理解がなくては目標額が達成できません。厳しい社会・経済状況の中ですが、若き青春を過ごした高校時代を想起していただき、1人でも多くの皆さんの「篤きご懸念」をよろしくお願いたします。

銀杏祭で百周年企画展開催

副会長 遠山 信義(昭40年卒)

8月31日と9月1日の2日間、本巣松陽高校の文化祭が開催され、同窓会も百周年記念事業に関する展示ブースを設けました。ブースには、百周年記念事業の概要(基本理念、基本コンセプト、事業のイメージ図)を始め、歴代の校旗、卒業アルバム(適宜抽出した30冊)、懐かしい過去の母校の写真パネル、卒業生名士の紹介パネル等を展示いたしました。2日間で約380名の生徒や保護者及び同窓生の方が来場され、興味深く展示物を観覧されていました。また、卒業アルバムの展示コーナーでは、懐かしそうに見入る同窓生や父母・祖父母及び先方の方の学生時代の顔を確認し、談笑する姿も見受けられました。来年は、卒業生名士の紹介コーナーを、現在各方面で活躍中の皆さんを紹介する等、もう少し充実した内容で、是非ご来場下さい。



▲同窓展を観覧する方々

本部

本部総会・懇親会の報告

当番学年代表 但馬 守(昭62年卒)



平成29年度岐阜県立本巣松陽高等学校同窓会本部総会・懇親会が8月12日(土)、ホテルグランヴェール岐山に於いて、総勢217名で盛大に開催されました。

例年通り、高校卒業から30年目の昭和62年卒の子どもを当番学年に加え、新たな試みとして、川瀬善忠会長の発案で、20年目(平9年卒)と10年目(平19年卒)の同窓生も当番学年として、広く参加者を集め、30年目当番学年から1001名、20年目当番学年から36名、10年目当番学年から11名、本部役員から61名、それに30年目恩師9名を加え、かくも盛大に総会・懇親会が行われました。

総会は、西尾侑一常任理事(平16年卒)の司会進行で、遠山信義副会長(昭40年卒)の開会の辞に引き続き、川瀬善忠会長(昭40年卒)、小椋博文名誉会長(母校校長)にご挨拶を頂きました。

次に、平成29年度同窓会本部役員を川瀬善忠会長より紹介いただき、平成28年度事業報告、決算報告、会計監査報告を各担当理事より、平成29年度事業計画、予算案、会則の改定等も同じく各担当者より報告をいただきました。

その後、来たる2020年に、母校である本巣松陽高等学校が創立百周年を迎えるにあたり、PRの映像動画を会場スクリーンにも上映しました。さらに、横幅10メートルにもなる巨大な百周年記念横断幕を、会場ステージ上にて御披露目致しました。総会は天野知子副会長(昭52年卒)の開



▲恩師の音頭で乾杯 ▼創立百周年PR幕を披露



会の辞で閉じました。広い会場を狭くも感じさせた巨大な横断幕は、今後、母校の校門横の松林で、道行く人々に、百周年をPRしてくれることでしょう。

総会終了後には、例年通り懇親会が開かれました。ここからの進行は、30年目の昭和62年卒が担当となり、司会進行は、曾我部雄志君にバトンタッチしました。川瀬善忠会長の挨拶を頂いたあとに、本巣松陽高校吹奏楽部による演奏を鑑賞し、30年前の高校生が現役の高校生との交流を楽しみました。

また、今回お忙しい中ご参加頂いた恩師の矢嶋康隆先生、窪田範男先生、高橋清生先生、服部長務先生、臼井達哉先生、二村珠美先生、木村稔先生、辻浩美先生、そして本年度から、本巣松陽高校の教頭として戻っていらした羽賀均先生、9名もの懐かしい先生方に、一言ずつ御挨拶をいただきました。

続いて、高橋清生先生の乾杯の御発声にて宴がスタート。乾杯に併せてトランペットにてファンファーレが鳴り響きました。これは、同級生の高橋秀光君の御子息の高橋賢一郎君の演奏でした。この高橋賢一郎君は、今までに、様々なコンクールで優秀な成績を収められており、中学生とは思えない、プロ並みの腕によつて、お父さん達の同窓会に華を添えて下さいました。歓談中にも、有志バンドによる歌ありダンスあり、お酒の勢いも手伝ってか「恋ダンス」は非常に盛り上がり、当時の応援団員や体育会系の有志がステージに上がり、本巣高等学校の校歌を全員で熱唱し、服部長務先生の万歳三唱で一旦会を閉じました。

その後、同会場にて当番学年懇親会へと続き、司会は瀧瀬仁基君と岩井歌寿予さんに代わり、矢嶋康隆先生の乾杯からスタートしました。恩師の先生方には、各テーブルに移動していただき、30年のプランクも一気に縮まるとともに、随分とくだけた雰囲気になり、昔話に近況に、恩師を囲んで昔を懐かしく思い出し、あつという間の2時間でした。

最後は私からの挨拶で締め、この懇親会は、自分なりの想像以上で大満足に終わりました。忙しい中、出席頂きました恩師の先生方、同級生の皆様、本当にありがとうございました。

ちょうど1年前のこの会で、前年度の当番理事さんからバトンを渡され、今年の総会の準備に取り掛かったのですが、川瀬善忠会長より「来年は、更に人数を飛躍して

くれよ！」とプレッシャーをかけられました。最初は、簡単でしょ？と思つていましたが、実際は大変でした。電話口で怒鳴られることもあり、心折れることもありました。でも、そんな時にも一緒に役員として助け、手伝ってくれる同窓生がいました。伏見君、松野君、曾我部君、平野さん、木下君、瀧瀬君、麓さん、福島さん、上島さん、宇佐美さん、山際さん、みんなに電話をし、宛名書きをし、出欠を集計し、会の計画をし、受付、司会など、当日まで頑張っていたいただきました。この有意義な時間をともに過ごせたことに感謝しております。ありがとうございました。

久しぶりに再会しよう

次年度当番学年代表

小島(箕浦)亜由美(昭63年卒)



高校を卒業してから30年。そんなにも時間が経つていたのかと考えながら改めて思い返してみたら、思ひの高校時代。思い出すのは、田んぼ道を自転車でかつ飛ばし、部活に明け暮れた日々。実力のあるチームメイトに恵まれ、インターハイ出場など、いろいろな大会に参加することができ、苦しいも楽しい時間を過ごした3年間。勉強は？と聞かれると、赤点を取り、再試験を受けながら、なんとか乗り越えてきた3年間。そんな時間を今ががあります。

今回、同窓会の当番学年の理事として関わることになりました。最初、自分しか理事がいなくてどうしようかと思つていたところ、快く世話役をかっててくれた仲間が、一緒に準備を進めています。久しぶりに開いたアルバムと名簿を照らし合わせながら、みなさんとの思い出を頭の奥から引っ張り出しています。

今回の同窓会が、久しぶりに再会するチャンスです。みなさん、ドキドキ、ワクワク

平成30年度本部総会・懇親会

日 平成30年8月11日(土) 午前11:00

場 所 ホテルグランヴェール岐山

※当番学年は卒業20・30年目(昭和63年卒・平成10年卒)の皆さんです。

ワクワクを楽しんでみませんか？ひとこと言葉をお交わせば、すぐに打ち解けあえることでしょう。たくさんの方が参加していただくことを世話役一同、楽しみに待っています。

関東支部

平成29年度総会・懇親会の開催について

支部長 田口 勉(昭40年卒)



平成29年度関東支部総会・懇親会を4月16日(日)11時30分からアルカディア市ヶ谷(私学会館)にて、本部から小椋博文名誉会長(母校校長)、川瀬善忠会長、西尾侑一常任理事、柏木典子事務局長の出席で開催しました。総会には関東支部会員59名の参加で開催致しました。総会は田口学氏(昭46年卒)の司会進行で始まり、支部長の挨拶、来賓の方々の祝辞に続き、平成28年度の事業報告及び会計報告を行いました。

12時半からの懇親会は田口学氏の司会進行で、守屋尚氏(昭21年卒)の乾杯により開催となりました。例年通り卒業年別に設定した各テーブルでの懇親では有りましたが、例年通り時間が経つと共にテーブルの枠を超えた交流となり、近況報告やら若かりし頃の思い出話等に花を咲かせておりました。

今回初参加者は、本部の西尾侑一常任理事のご尽力により、新学生等7名が参加され、それぞれに挨拶・自己紹介等を頂きました。その後余興として昨年同様、森秀幸氏(昭60年卒)にマジックショーをご披露頂き、続いて恒例の卒年別グループの記念写真撮影を行いました。当日の記念写真及びスナップ写真については後日参加者全員に送付しました。又、恒例の全員でのビンゴゲームで会場も大いに盛り上がり、昭和41年卒者をリーダーにして全員で校歌を斉唱し、次回総会への多数の参加呼びかけをお願いして、小野治郎氏(昭28年卒)の閉会の挨拶で散会となりました。



▲懇親会の様子

毎年お願いしております関東支部運営での年会費について、今回も総会の案内状送付時に年会費のご協力を頂くため、振替払込用紙を同封しお願い致しましたところ、33名の会員の方から年会費と多額の寄与金を頂戴致しました。ご協力頂きました皆様には御礼状と当日の総会資料を郵送させて頂きました。

例年ご参加頂いております中村隆春氏(昭41年卒・岐阜在住)より、奥長良川名水「高賀の森」・「水素水」を多数贈呈頂きましたことに心より御礼申し上げます。

平成30年度関東支部総会・懇親会

日時 平成30年4月15日(日)
午前 11:30

場所 アルカディア市ヶ谷(私学会館)
※市ヶ谷駅下車徒歩約2分

会費 支部会員 8,000円
学生会員 3,000円
支部会員以外 5,000円

名古屋支部



支部長 大西 隆信(昭41年卒)

例年より寒い冬でしたが、日を追って春の気配が感じられるこの頃です。

さて、名古屋支部は3年毎の支部総会を本年6月2日(土)午前11時より、名古屋駅前ホテルキャッスルプラザ4階早月の間にて開催の運びとなりました。今回は80歳以下のすべての会員を対象にご案内をいたします。平成生まれの若い会員の出席を期待しています。



▲幹事会の様子

この総会の企画・運営は、先の総会で選出された幹事が行いますが、母校の百周年記念事業の進捗状況報告や支部総会の企画等について幹事会を開き、情報の共有と懇親を深めました。

平成29年5月6日(土) 幹事会 7名出席
(名鉄百貨店9F 歌行燈)

同年12月9日(土) 幹事会 9名出席
(名駅前 奥志摩)

平成30年1月27日(土) 幹事会
(名鉄百貨店9F 歌行燈) 10名出席

平成30年度名古屋支部総会・懇親会

日時 平成30年6月2日(土)
午前 11:00

場所 ホテルキャッスルプラザ
※名古屋駅下車ユニモール地下街直結

加藤記念奨学会『四十周年記念誌』発行

川崎重工業(株) 元取締役副社長の加藤利一氏(旧制本巢中学、昭3年卒)設立による公益財団法人加藤記念奨学会が設立40周年を迎え、記念誌を発行しました。

▶記念誌の表紙



揖斐郡本巣会 活動報告

事務局長 柏木 典子(昭53年卒)

平成29年8月27日(日)に、第2回揖斐郡本巣会懇親会が料理旅館「松本屋」(揖斐郡揖斐川町谷汲徳積290)において午後6時より開催されました。

当日は、昭和40年卒から平成13年卒までの30名が出席されました。その中で新会員の参加が13名もありました。揖斐郡本巣会事務局長である古野利仁氏(昭53年卒)の司会のもと、川瀬善忠会長(昭40年卒)にご挨拶をいただきました。続いて揖斐郡本巣会会長である富田和弘氏(昭40年卒)と、本年度から本校に着任した小椋博文校長先生よりご挨拶をいただきました。また同窓会事務局長の柏木典子より挨拶をさせていただきますました。出席者が順番に自己紹介をされる中、和やかな雰囲気となり、乾杯の発声から歓談へと移りました。会長より新メンバーのお1人である所千加氏(平9年卒)のご活躍が頑張ってくださいとのお話がありました。その後3時間経過後のところで、創立百周年記念事業に向けた固い結束を確認し、盛会のうちにお開きとなりました。

次回の本巣会でお会いできることを楽しみにされ、別れを惜しむ皆さんの様子が多く見られました。



▲会場の松本屋

創立百周年記念事業の経過報告

平成28年度に発足した実行委員会での議論を経て、平成29年度は事業委員会に加え、総務委員会、財務委員会、広報委員会の活動が活発に行われました。

事業委員会

平成29年1月22日に決定された創立百周年記念事業計画に従い、平成29年12月17日の事業委員会において基本設計の完了が確認された。それに伴い、計画平面図とイメージスケッチが提案された。平成30年1月20日の第8回実行委員会において、基本設計の完了と、計画平面図とイメージスケッチについて承認された。詳細については、本年4月からの実施設計で決定していくことが確認された。

総務委員会

寄付金募集が始まり、以前作成した住所別名簿を活用して欲しい。また、名刺が必要なのは準備するので、申し出をお願いしたい。

広報委員会

平成29年7月30日、広報委員会企画の横断幕を正門南のフェンスに河野秀明広報委員長、大塚由美実行副委員長(P.T.A会長)、小椋博文実行副委員長(学校長)、河野広報委員長、生徒会役員らに同席いただき、9月29日には懸垂幕、平成30年2月28日には生徒デザイン横断幕と懸垂幕の掲出セレモニーが実施された。

式典委員会

記念式典は2020年10月17日午前に母校体育館にて、午後からは岐阜グラウンドホテルにて祝賀会を実施する。会場の仮押さえがしてあり、下見をして会場の広さや使い勝手の良さなどの確認を済ませた。

記念誌委員会

記念誌の構成内容や寄稿文の依頼先などを検討し、印刷業者の選定を進めていきたい。

名簿発行委員会

創立百周年記念号となる同窓会の『会員名簿』を多くの同窓生に購入していただきたい。再度名簿の購入を依頼していきたい。

財務委員会

平成29年12月1日から創立百周年記念事業寄付金募集が開始された。それまでには委員会の中で、多くの課題について積極的

に話し合われてきた。まず、国税局への提出書類の準備と申請、そして許可が得られたこと。入金管理委託業者が3社の中から選定され、石田大成社に決定された。その後、同社との綿密な協議が重ねられた。また、寄付金が振り込まれる金融機関との振込手数料についての話し合い、4連の振込用紙の検討、事務局が寄付金をいただいた方に寄付金控除確定申告用の領収書及びお礼文の送付などを行うことなどが決定された。その結果、無事に寄付金募集を迎えることができた。

これまでの経過と今後の予定

- 平成27年 9月28日 第1回準備委員会
- 平成28年 2月5日 第2回準備委員会
- 5月14日 同窓会常任理事会・理事会
- 6月4日 第1回実行委員会
- 8月7日 第2回実行委員会
- 9月25日 同窓会総会・懇親会
- 10月23日 第1回常任委員会
- 平成29年 10月23日 第3回実行委員会
- 1月8日 第2回委員会
- 2月26日 同窓会『会員名簿』発行
- 3月26日 第4回実行委員会
- 5月13日 第3回委員長会
- 6月4日 同窓会常任理事会・理事会
- 8月12日 第5回実行委員会
- 10月17日 第6回実行委員会
- 12月1日 同窓会総会・懇親会
- 平成30年 1月20日 第7回実行委員会
- 1月20日 第1回募金開始
- 3月17日 第8回実行委員会
- 5月中旬 同窓会常任理事会・理事会
- 8月11日 同窓会総会・懇親会
- 12月1日 第2回募金開始

創立百周年記念式典・祝賀会

2020年10月17日(土曜日)
午前・記念式典(母校体育館)
午後・祝賀会(岐阜グラウンドホテル)

多くの同窓生や在校生、学校職員と共に創立百周年記念事業を成功させ、記念式典と祝賀会で喜びを分かち合いまししょう!



頑張ってます 同窓生 Vol.4

TAMAKEY'S COFFEE LABO. 店主 玉木裕 (平13年卒)

高品質のコーヒー豆を追及し続ける。そんな職人が玉木裕二氏である。玉木氏は、母校で水泳部に所属していた。しかし3年生の時に「デザイナード」に憧れ、美術系の進路を考え始めて美術部に入り始め、基本を指導してもらいながら、半ば独学で勉強し、名古屋造形大学に入学した。卒業後は飲食店に勤務し、「いつか自分でカフェを持ちたい」と思うようになった。昔から好きであったコーヒーの焙煎方法を勉強する中で、焼き方1つで味が変わる奥深さに興味を抱き、気付いたらコーヒーに没頭するようになった。



TAMAKEY'S COFFEE LABO.

〒501-1131 岐阜県岐阜市黒野 23-2 TEL 058-337-8049 URL http://tamakeys.com/

平成27年8月末、美味しいコーヒーの「3だて」(焼きたて、挽きたて、淹れたて)を実現して最高の1杯を提供できる店として、現在地に「NOW COFFEE」を開いた。翌28年2月には、店内の半分をギャラリーにしてリニューアルした。当初はデザイナードつながりのお客が多かったが、現在では口コミが広がり、様々な方々が来店してくれるようになった。こだわりの「NOW COFFEE」の品質を絶対に落とさないこと。より高品質の豆を追求し、常に焼きたてで豆を提供している。
「NOW COFFEE」は、一度焼いたら生ものと一緒にある。品質の向上で、雑味がなく、深く焙煎せずに浅煎りでも渋みのないきれいな酸味のコーヒーを味わえるようになってきた。そんな「NOW COFFEE」本来の味を知ってほしい」と語る。
客数が増えたいと考える。今後は、現在の店舗を拡張し、より多くのお客にコーヒーを楽しんでもらいたいと考えている。
「NOW COFFEE」を飲んでほしい。そして、コーヒー本来のおいしさを知ってもらいたい。店内ではオススメの味わい方でコーヒーを提供しているが、酸味など、お客の細かい要望に応えられる」と語る玉木氏は、まさに「NOW COFFEE」の職人である。

【平成30年3月1日取材 インタビューア 西尾 侑一(平16年卒)】

ようこそ!239名の新会員

平成30年3月1日(木)、母校体育館にて平成29年度卒業証書授与式が挙行されました。それに先立ち2月28日、同窓会入会式が行われ、239名の卒業生が新会員として加入しました。川瀬善忠会長と遠山信義副会長が出席して行われた入会式において、7名の理事を代表して三村友哉君に、会長から委嘱状が授与されました。また、卒業記念品として例年通り、各々の名前の印章が新会員全員に贈呈されました。

新会員の皆様は「平成30年卒」です

平成30年3月卒業 新理事

(◎は学年代表、○は学年副代表)

- ◎三村 友哉
- 竹中 玲椰
- 本間 太一
- 小谷 泰士
- 松井 俊樹
- 大草 菜々
- 池田 竜一郎



▲委嘱状を受け取る三村理事代表

寄付金納入者芳名

平成29年4月1日〜平成30年3月7日 (1口1,000円、敬称略)

- 青木 松男 (昭32年卒) 10口
- 高橋 陸 (昭36年卒) 2口
- 中島 洋晃 (昭36年卒) 7口
- 川瀬 善忠 (昭40年卒) 12口
- 高橋 清生 (昭40年卒) 5口
- 田口 勉 (昭40年卒) 10口
- 遠山 信義 (昭40年卒) 2口
- 大西 隆信 (昭41年卒) 2口
- 後藤 壽太郎 (昭41年卒) 2口
- 大西 覚成 (昭42年卒) 2口
- 森 准子 (昭43年卒) 2口
- 福田 節子 (昭49年卒) 3口
- 藤木 節子 (昭50年卒) 2口
- 大野 博 (昭50年卒) 2口
- 長屋 秀眼 (昭50年卒) 2口
- 吉田 秀行 (昭52年卒) 2口
- 河野 利仁 (昭53年卒) 2口
- 古野 典子 (昭53年卒) 5口
- 柏木 康義 (昭56年卒) 5口
- 山本 記三子 (昭57年卒) 2口
- 宮本 雅司 (平6年卒) 2口
- 汲田 雅司 (昭62年卒) 1口

皆様の協力をお願いします

岐阜県立本巣松陽高等学校同窓会

郵便振替 00880-6-154003

ゆうちょ銀行

店名089店 口座番号0154003

百周年記念事業への寄付は専用の用紙を

創立百周年記念事業へのご寄付は、同窓会員の皆様にお送りしております趣意書に同封の払込用紙をご利用ください。

創立百周年PR幕、披露される

来たる創立百周年を、同窓生のみならず、生徒や保護者、地域の方々にかに於いてPRするが創立百周年記念事業広報委員会が議論され、幕が作成されることとなりました。

早速、平成29年7月30日、広報委員会でデザインした横断幕を正門南側フェンスに掲出しました。黄色を基調とし、沿道からは、松樹からまさに垣間見えるPR効果あるものとなりました。

続いて9月29日、本館の正面玄関西側に懸垂幕を掲出しました。今回は同窓会のみならず、PTA、学校のそれぞれから出席いただいたり掲出セレモニーを開催し、マスコミにも取り上げていただきました。生徒会長はじめ生徒会役員にも参加していただきました。

続いて平成30年2月28日には、在校生による横断幕と懸垂幕の掲出セレモニーを行いました。今回の幕は、広報委員会から在校生にデザインを募集し、広報委員会において応募総数約50作品の中から横断幕と懸垂幕を各3作品ずつ選び、総選挙を開催して生徒たちの手で作品を決定しました。選ばれたのは、懸垂幕は佐々木里奈さん(2年生)、横断幕は入江美月さん(1年生)の作品で、どちらも生徒の思いが込められた素敵な作品として完成しました。前回同様、今回もマスコミに取り上げていただきました。

在校生が直接関わってくれたことで、同窓会、PTA、学校の3者がさらに一体感を増して創立百周年を盛り上げる良い機会となりました。



▲9月の懸垂幕掲出セレモニー

▲2月の生徒デザイン幕セレモニー

廣瀬勝己元事務局長逝く

事務局の廣瀬勝己氏(昭52年卒)が、平成30年2月21日にご逝去されました。享年59歳。

廣瀬氏は根尾の出身で、平成18年度より母校に勤務されておられました。昨年度まで事務局長を務めておられたが、病気のため、本年度は入院と勤務を交互にされておりました。謹んで哀悼の意を表します。